

# ドローンによる災害現場の迅速な確認を!



無人航空機(通称ドローン)で空撮した亀岡市内



▲(一社)ドローン撮影クリエイターズ協会と協定の締結

6月1日、亀岡市は、機動性・操縦性に優れた無人航空機(通称「ドローン」)を活用し、災害時の被害状況などの収集能力を強化するため、(一社)ドローン撮影クリエイターズ協会と「災害時等における無人航空機の運用に関する協定」を締結しました。今回、協定を締結した(一

社)ドローン撮影クリエイターズ協会は、ドローンによる撮影ならびに操縦技術の向上および安全運航管理者の育成などを推進しています。また、技能講習なども実施されており、本市においても市民の皆さんを含めた講習会が行われる予定です。

協定式では、同協会代表理事の坂口博紀さんがドローンの操縦や災害時の活動について説明されたほか、手のひらサイズのドローンによるフライトを実演されました。同協定の締結により、今後、本市において災害が発生した際、同協会がドローンを使用し、上空から被災地の情報を収集。これにより、人が寄り付かない場所の被災状況はい



▲災害時に稼働するドローン

ち早く認知するとともに、被災者の捜索・救助支援などを行うことで、迅速かつ効果的な復旧活動などの実施が期待できます。今後、亀岡市では、さまざまな災害を想定した取り組みを進め、より一層の防災体制を構築してまいります。

## 守ろう! 増やそう! 市の魚「アユモドキ」



▲救出されたアユモドキ

市の魚であるアユモドキは絶滅が危惧されている希少種です。全国でも数少ない生息地がある亀岡市では、毎年6月初旬に地元の保津町自治会の皆さん、環境省、京都府、NPO、亀岡市などが協働でアユモドキの救出活動を行っています。今年も、昨年を上回る54匹を保護しました。アユモドキは、繁殖に参加させるためにダム上流に堰(ゴム製)を立て、心無い密漁被害を防止するための監視パトロールを実施

今年、昨年を上回る54匹を保護しました。アユモドキは、繁殖に参加させるためにダム上流に堰(ゴム製)を立て、心無い密漁被害を防止するための監視パトロールを実施



▲人の手で守っていきます

実施。アユモドキが生息する環境を守る活動の周知と啓発を行いました。亀岡市では今後もアユモドキの調査、保護活動を続け、生息地の保全と拡大に取り組みまいります。

## やさしい健康講座第115回



亀岡市立病院 麻酔科部長兼地域連携室長 橋本 朋子 専門分野 手術麻酔、緩和医療

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスをします。

### 腰や足の痛み・しびれで運動不足になっている方へ

腰痛や下肢のしびれでお悩みの中高年の方は大勢おられます。普段からできるだけ腹筋・背筋を鍛えてそのような症状を予防し、増悪させないことは大切です。増悪させないことは大切ですが、それでも椎間板という脊椎の間のクッションがすり減ったり、脊椎が変形して神経の通り道が狭くなると、おしりから太ももの後ろ、ふくらはぎにかけての痛みやしびれのために、じっと座ってられない、長時間歩けなくなります。坐骨神経痛・間欠性跛行と呼ばれるこれらの症状は程度によっては手術の適応になりませんが、手術するほどでもないけれど、もう少し症状が和らげば、運動や散歩もできるのに、と思っておられる方は多いのではないのでしょうか。

ペインクリニックでは仙骨硬膜外ブロックという方法で、神経の興奮を抑え、血流を改善することで症状を緩和します。もちろん全ての患者様が満足されるような効果が出るとは限りませんが、比較的副作用や合併症の少ない方法ですので、お薬やリハビリだけでは良くならなかった方は一度御相談ください。

## ふるさと力が生む まちづくりの功績をたたえて

6月19日、京都府立府民ホール(京都市上京区)で京都府開庁記念日記念式典が開催され、石田武夫さん(穂田野町)が、地方自治法施行70周年記念・自治功労者特別表彰を受賞されました。

またニチコン亀岡株式会社、亀岡クルベジ育成会が、環境保全功労者表彰(団体・環境トップランナー部門)を受賞されました。これらは環境保全活動や環境保全行政の推進に貢献されてきたことが高く評価され表彰されるものです。

これは、地域の自治活動を通じ、住民の自治意識の高揚と安心安全で活力ある地域社会づくりを貢献された方を京都府が表彰するものです。



▲受賞を祝い山田知事らと記念撮影

今後、亀岡市は、市民の皆さんと協働で未来につなげるまちづくりに取り組みまいります。